

一般名：セマグルチド(**Semaglutide**)

GLP-1受容体作動薬というタイプの糖尿病治療薬で、**世界初の「飲むGLP-1製剤」**です。注射タイプ(オゼンピック・ウゴービなど)と同じ有効成分を、内服薬として服用できるようにしたものです。日本では2021年に2型糖尿病薬として承認され、現在は肥満治療・ダイエット目的でも自由診療(自費)で使われています。リベルサスは、**GLP-1(インクレチン)**という腸から分泌されるホルモンの働きを強めます、

その結果：

1. 食欲を抑える(脳の満腹中枢に作用)
2. 胃の動きを遅くする(満腹感を持続)
3. 血糖上昇を防ぐ(インスリン分泌促進)
4. 脂肪の蓄積を抑える これにより、血糖コントロールとともに自然な体重減少が期待できます

 効果

- ◇ 3か月で 体重**3～5 kg**減少(個人差あり)
- ◇ 継続6か月で 体脂肪率・内臓脂肪の減少
- ◇ 糖代謝・血圧・脂質の改善効果も確認

注射薬(マンジャロ)に比べるとややマイルドですが、

「飲むだけ」で食欲が減る・間食が減るという点で始めやすい治療です。



 飲み方(重要)

※飲み方を守らないと、吸収率が極端に低下して効果が出にくくなります。

 朝起きてすぐ 起床直後、空腹の状態で服用

 水は少量(**120 mL**以下) コップ半分くらいの常温水で飲む

 服用後**30分**は飲食禁止 水・コーヒー・薬もNG(吸収が落ちます)

 朝食は**30分**後以降に できれば軽めの内容に

 **Cost** 費用 30錠 (税込み) 

3mg 8500円/ 7mg 19800円/ 14mg 30000円

マンジャロとは

一般名:チルゼパチド(**Tirzepatide**)

米イーライリリー社が開発した「GIP／GLP-1受容体作動薬」で、GLP-1＋GIPの2つの経路で働く“次世代薬”。もともとは糖尿病治療薬として開発されました。日本では2023年に2型糖尿病治療薬として承認され、2024年から肥満症治療目的でも自由診療で導入するクリニックが増えています。

作用のしくみ

マンジャロは 2つのホルモン受容体に作用 するのが特徴です。

GLP-1(インクレチン)

胃の動きを遅らせ、満腹感を保つ。

血糖上昇を抑える。

GIP(グルコース依存性インスリン分泌刺激ポリペプチド) インスリン分泌を促進し、脂肪代謝を改善。

この「GLP-1＋GIP」ダブルアゴニスト作用により、従来のGLP-1単独製剤(例:リベルサス・ウゴービなど)よりも 強い食欲抑制・体重減少効果 が報告されています。

効果(臨床データ)

- 平均 体重**10～20%**減少(72週間投与で)
- GLP-1単独薬(セマグルチド)よりも有意に強い減量効果
- 血糖コントロール(HbA1c改善)効果も高い

使用方法

- 週**1**回皮下注射(腹部・大腿・上腕などに自己注射)
- 通常、2.5mgから開始し、4週ごとに段階的に増量、最大15mgまで調整可能(医師指導のもと)



Cost 費用 1本あたりの値段

2. 5mgシリンジ1本 5500円 / 5. 0mgシリンジ1本 9900円/

7. 5mgシリンジ1本 16500円 / 10－15mgシリンジ1本 22000円

⚠ 主な副作用・注意点

共通の副作用	吐き気・下痢・便秘・食欲不振・倦怠感
まれな副作用	膵炎・胆石・腎機能低下など（継続時は採血管理推奨）

服用出来ない方

1. 本剤成分に過敏症の既往がある患者
2. 糖尿病ケトアシドーシス・1型糖尿病の患者
3. 重度の胃腸障害（胃不全麻痺・腸閉塞など）
4. 膵炎の既往または活動性膵炎のある患者
5. 甲状腺髄様がんまたはMEN2（多発性内分泌腫瘍症2型）の既往・家族歴
6. 妊婦・妊娠している可能性のある女性
7. 授乳中の女性
8. 重度腎障害（eGFR 30未満）の患者

🔍 まとめ

目的別おすすめ	対応薬剤
注射が苦手・初めて試したい	 リベルサス
強い効果でしっかり痩せたい	 マンジャロ

📌 ポイント

- どちらも「食欲抑制＋代謝改善」により無理のない減量が可能。
- 医師管理のもと、生活習慣改善と併用することで最大効果を発揮します。
- 自己判断での服用・注射は危険です。必ず医師の指導を受けましょう。
- 使用前、3ヶ月毎の採血検査（3500円）、尿検査（500円）が必要です。

